



今月の題字

佐々木樹奈ちゃん
(大浦小2年)

町のわだい

夢花倶楽部 in やまだ 野外で押し花展を開催 個性豊かな作品が庭を彩る

夢花倶楽部 in やまだ（伊藤キメ代表・会員20人）の押し花展が6月24日と25日、同倶楽部でインストラクターを務める織笠の毘加代子さん(70)宅の庭で開かれました。花の咲きだした庭に会員の押し花絵約80点や押し花を使ったティッシュケース、ペンダントなどが展示されたほか、山田中と山田高の茶道部の皆さんによる野だても行われました。訪れた人たちは和紙や海草などを組み合わせた個性豊かな作品を眺めたり、お茶を味わったりするなど、穏やかな休日のひとときを過ごしていました。



地域懇談会に町民250人 身近な要望や質問が相次ぐ

町では6月12日から28日にかけて「新しいまちづくりを考える地域懇談会」を各地区で開催しました。4月にスタートした第8次町総合発展計画に掲げる「住民参加と協働」「身の丈にあった行財政」を推進するためのもので、全9会場町民250人が参加。沼崎喜一町長が同計画の背景を説明した上で、住民協働の必要性と方針を示しました。その後、町担当課長による国保、介護保険の運営状況などの説明に続いて懇談が行われ、道路補修や街路灯の設置など生活に身近な要望や質問が相次ぎました。

山田民謡伝承会から町に善意 福祉向上にと5万円を寄付

6月9日、山田民謡伝承会（阿部實会長・会員8人）が町に5万円を寄付しました。同会創立5周年記念と町の活性化推進の一助にと、町内外約40の企業・団体の協賛により5月28日に町中央公民館で開催した第2回発表会の益金を贈ったものです。贈呈式は役場で行われ、阿部会長、新保公副会長、佐々木ゆみ子会計の3人が訪問。阿部会長が「町の福祉向上に役立ててください」と沼崎喜一町長に寄付金を手渡しました。沼崎町長は「大切に使用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。

